

令和3年度補正 UNOPS を通じた PCR 機材の引渡式

令和4年10月17日、田中大使は、UNOPS が実施しているプロジェクトで調達した PCR 機材をジンバブエ保健・育児省に引き渡しました。

このプロジェクトは、我が国の資金支援により、UNOPS がマニカランド州の遠隔コミュニティにおける基本的な救急医療サービスへのアクセス向上に取り組むものです。今回、ニャンガ地区の病院に贈呈される PCR 機材に加え、チピング地区とムタサ地区へも救急車2台を調達し、令和5年1月に引き渡す予定としています。贈呈された PCR 機材は、新型コロナウイルス感染症の検査だけでなく、結核や乳幼児の早期 HIV 診断等にも使用されます。

ユニバーサル・ヘルス・カバレッジと医療へのアクセス改善は、我が国の開発協力方針の重要な分野であり、我が国と UNOPS は世界中で、人道支援や脆弱な環境におけるインフラの復旧を通じ、支援を必要とする人々のより良い生活を築くために協力を展開しています。

UNOPS ジンバブエ事務所のアミナス代表は、引渡式で、地域の裨益者がいかに支援を必要としているかを挙げながら、「UNOPS は、マニカランド州における基本的な緊急サービスへのアクセスを強化するという日本政府のイニシアチブを促進できることを嬉しく思います。我々は、サイクロン・イダイと COVID-19 と2度の壊滅的被害の後に、これら地域での豊富な活動経験を有しており、このような機材等の重要性・必要性を理解しています。」と述べ、日本政府による機材贈与を高く評価しました。

このプロジェクトでは、保健・育児省との協力で、救急車運転手2人に対する救急車操作、看護師4人に対する総合保健サービス及び検査技師2人に対する PCR 機材の操作・管理の研修も実施されます。

田中大使は、UNOPS がマニカランドで行っているコミュニティの生活を変えるための活動を賞賛し、この PCR 機材を提供する日本の目的は、タイムリーな検査、感染予防と症例管理等を可能にすることで、保健医療サービスを強化することであると述べました。



PCR 機材の引渡し



PCR 機材の操作研修の様子